

ポーランド経済・金融概況
Main Economic & Financial Indicators (Poland)

経済調査室
Economic Research Office
(照会先: 石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufg.jp)

概況	消費/消費者心理
<p>ポーランド経済は、引き続き緩やかな拡大基調にある。2015 年上半期の実質 GDP 成長率は、前年比+3.5%と、内需をけん引役に昨年からの拡大ペースを維持した(2014 年通年の成長率は同+3.3%)。個人消費と総固定資本形成の底堅い拡大に加え、今年に入って輸入のペースが若干鈍化し、純輸出の寄与度がプラスとなったことも寄与した。足元の動向についても、指標によってやや振幅がみられるものの、基本的に景気は底堅く推移している。</p> <p>先行きに目を転じると、燃料、食料品価格の下落や雇用拡大から、引き続き家計の実質可処分所得の増加が期待でき、消費の押し上げ要因となろう。一方、企業部門については、輸出向け受注の弱含みなど懸念材料も出てきている。ウクライナ紛争や中国経済等の先行き不透明感、ユーロ圏の景気回復の緩慢さなども、企業の投資意欲を抑制しよう。設備投資に関しては、低金利や国内消費の底堅さといった追い風も存在しているため、更新投資を中心に安定的な拡大が見込まれるものの、景気を一段と押し上げるには至らないとみる。</p> <p>中銀は 7 月のインフレレポートで、2015 年の実質 GDP 成長率予想を前年比+3.6%とし、前回の見通し値(同+3.4%)から引き上げた。3 月に実施した利下げの効果などが上方修正の要因。一方、インフレ率については同▲0.8%と、食料品価格下落の長期化を理由に、前回の同▲0.5%から下方修正した。</p>	<p>8 月の実質小売売上は前年比+2.0%と、6 月の同+6.6%から 2 か月連続で減速した。ただし、8 月の失業率(未季調値)は 10.0%と、前年同月の 11.7%から低下しているほか、賃金の伸びも名目・実質ともに増加トレンドを維持しており、消費失速の恐れは小さい。消費者マインドも、年初はスイスフラン急騰で家計のフラン建債務負担増加への懸念が高まり、一時悪化した。その後は家計の財務状況や景気に関する見通し改善などを背景に回復基調を維持している。ただし足元、雇用の改善期待に一服感がみられる点には留意を要する。</p> <div data-bbox="845 627 1436 1052"> <p>消費者マインド、景気、家計財務状況、失業先行き (%)</p> <p>— 消費者信頼感 (左軸) — 景気見通し (左軸) —◇— 家計財務状況見通し (左軸) - - - 失業の見込み(右軸)</p> <p>(資料) Macrobond より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>
GDP	物価、金融政策
<p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率(改定値)は、前期比+0.9%と前期の同+1.0%から僅かに減速したものの、緩やかな拡大ペースを維持した。需要項目別では、個人消費、総固定資本形成の拡大持続に加え、政府消費支出の伸びの加速(同+0.3%→同+0.7%)も成長率の押し上げ要因となった。輸出は同+0.3%に減速したが(前期は同+0.8%)、輸入も減速した結果、純輸出の寄与度は前期と同じ+0.2%ポイントとなった。</p> <p>主要輸出先であるユーロ圏の需要回復が力強さを欠く上、ウクライナ紛争の長期化や中国景気の減速懸念など外需の先行き不透明感も若干ながら強まってきており、経済成長は当面、消費を主体とした内需主導のものとなる公算が大きい。</p>	<p>8 月の消費者物価上昇率は、前年比▲0.6%と昨年 7 月以降 14 か月連続でマイナスとなった。ただし、今年 2 月以降マイナス幅は、燃料、食料品価格の下落ペース鈍化を受け縮小傾向にある。</p> <p>ポーランド中銀は 10 月 5-6 日開催の金融政策委員会において、同国の政策金利を 1.5%に据え置いた。中銀は、「ポーランド経済は内需を中心に緩やかに拡大するも、インフレ率は緩和的な需給バランスや弱めの賃金上昇圧力などから、マイナス状態にある。ただし、今後は国内外の景気改善に伴う需給バランスのタイト化が予想され、物価は徐々に上昇に転じよう」とした。もっとも、「新興市場を中心に景気鈍化のリスクは高まっており、原材料価格のさらなる下落からインフレ率が目標値に達する時期が遅れる可能性」も指摘した。</p>
<p>(前期比、%) 実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <p>— 個人消費 — 総固定資本形成 — 政府消費 — 純輸出 — 在庫その他 — GDP</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年)</p>	国際収支
<p>8 月の鉱工業生産は前年比+5.3%と、前月の同+3.8%から加速した。製造業の生産の伸びが同+6.1%と、前月の同+4.6%から高まり、全体を押し上げた。食料品や自動車関連の増産幅拡大が寄与した。一方、9 月の製造業購買担当者指数(PMI)は 50.9 と前月の 51.1 から悪化し、昨年 9 月以来の低水準となった。新規受注は、全体としては若干改善したが、新規輸出受注指数は 49.0 となり、拡大・縮小の分岐点である 50 を 11 か月ぶりに下回った。成長の牽引力に占める、内需のウェイトが高まっていると判断される。</p>	<p>2015 年上半期の経常収支は 22.4 億ドルと、昨年同時期の▲64.0 億ドルから黒字に転じた。昨年秋以降の原油安を主因として輸入額が減少し、貿易収支が黒字化したことが寄与した。ただし、直近 7 月の貿易収支は、EU への輸出鈍化やロシアやウクライナへの輸出減少を理由に、3 か月ぶりの赤字となった。この先内需主導の成長が予想される中、貿易赤字が継続する可能性は高く、今後の推移には注意を要しよう。</p>
生産	財政政策
<p>8 月の鉱工業生産は前年比+5.3%と、前月の同+3.8%から加速した。製造業の生産の伸びが同+6.1%と、前月の同+4.6%から高まり、全体を押し上げた。食料品や自動車関連の増産幅拡大が寄与した。一方、9 月の製造業購買担当者指数(PMI)は 50.9 と前月の 51.1 から悪化し、昨年 9 月以来の低水準となった。新規受注は、全体としては若干改善したが、新規輸出受注指数は 49.0 となり、拡大・縮小の分岐点である 50 を 11 か月ぶりに下回った。成長の牽引力に占める、内需のウェイトが高まっていると判断される。</p>	<p>ポーランド政府は 9 月初め、来年度予算の政府案を明らかにした。2016 年度予算案の歳入は 2,969 億ズロチ、歳出は 3,515 億ズロチ。財政状況の改善を踏まえ(6 月に欧州委員会はポーランドの過剰財政赤字手続き(EDP)を解除)、防衛費や社会保障費の増加のほか、2010 年以来凍結されていた公務員給与の引き上げなどが盛り込まれた。歳出額は 2015 年度の歳出(概算値)を 2.4%上回ると見積もられているが、財政赤字は対 GDP 比 3%以内に抑えられる見通しである。</p>

ポーランド経済・金融概況

1. 年、四半期

		2012	2013	2014	14/Q3	14/Q4	15/Q1	15/Q2	15/Q3
名目GDP実額	(10億米ドル)	496.2	526.1	547.7	135.5	141.7	112.2	117.4	-
実質GDP成長率(季節調整値)	(前期比、%)				0.9	0.8	1.0	0.9	-
	(前年比、%)	1.8	1.7	3.3	3.3	3.3	3.6	3.3	-
(民間消費支出)	(前期比、%)				1.0	0.8	1.1	0.8	-
	(前年比、%)	1.0	1.2	3.1	3.2	3.0	3.1	3.0	-
(総固定資本形成)	(前期比、%)				2.0	2.4	2.9	1.3	-
	(前年比、%)	▲ 1.5	1.1	9.5	9.2	8.6	11.4	6.4	-
鉱工業生産	(前年比、%)	1.4	2.3	3.4	1.5	3.3	5.1	4.2	-
小売売上(実質)	(前年比、%)	3.1	2.6	4.0	3.0	3.0	4.2	4.3	-
銀行貸出伸び率	(前年比、%)	1.5	4.2	6.7	5.5	6.7	7.2	7.4	-
消費者物価上昇率	(前年比、%)	3.7	0.9	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.5	▲ 0.9	-
名目賃金上昇率	(前年比、%)	3.5	2.6	3.8	3.5	3.4	3.9	3.1	-
失業率	(%)	12.8	13.5	12.3	11.7	11.4	11.9	10.8	-
貿易収支	(百万米ドル)	▲ 13,730	▲ 2,601	▲ 3,516	▲ 975	▲ 1,176	1,860	1,147	-
輸出額	(百万米ドル)	185,307	205,005	219,731	54,107	53,641	49,344	49,252	-
輸出伸び率	(前年比、%)	▲ 1.7	10.6	7.2	4.1	▲ 1.2	▲ 11.1	▲ 13.2	-
輸入額	(百万米ドル)	199,037	207,606	223,247	55,082	54,817	47,484	48,104	-
輸入伸び率	(前年比、%)	▲ 5.3	4.3	7.5	6.1	▲ 2.0	▲ 15.4	▲ 16.2	-
経常収支	(百万米ドル)	▲ 18,605	▲ 6,744	▲ 11,125	▲ 3,207	▲ 1,520	1,010	1,227	-
資本収支	(百万米ドル)	▲ 517	5,947	8,760	▲ 878	6,100	7,406	3,489	-
対内直接投資	(百万米ドル)	7,358	795	17,275	5,688	1,096	4,885	▲ 1,411	-
外貨準備高	(百万米ドル)	103,396	102,236	96,462	97,708	96,462	93,231	100,166	-
対外債務残高	(百万米ドル)	368,961	384,083	354,720	372,064	354,720	330,195	341,560	-
株価指数		41,613	48,323	52,209	52,336	52,878	52,458	55,390	51,669
短期金利(interbank3m)		4.91	3.02	2.51	2.59	2.06	1.87	1.67	1.72
長期金利(Gov.10y bond yields)		5.00	4.03	3.52	3.27	2.60	2.25	2.79	-
Zloty/USD		3.26	3.16	3.16	3.15	3.38	3.72	3.70	3.77
Zloty/Euro		4.18	4.20	4.19	4.17	4.21	4.19	4.09	4.19
Zloty/GBP		5.16	4.94	5.19	5.26	5.34	5.64	5.67	5.84

2. 月次

		15/02	3	4	5	6	7	8	9
鉱工業生産	(前年比、%)	4.9	8.8	2.3	2.8	7.6	3.8	5.3	-
小売売上(実質)	(前年比、%)	2.4	6.6	1.5	4.7	6.6	3.5	2.0	-
銀行貸出伸び率	(前年比、%)	7.1	7.2	5.9	7.2	7.4	7.5	7.2	-
消費者物価上昇率	(前年比、%)	▲ 1.6	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.6	-
名目賃金上昇率	(前年比、%)	3.2	4.9	3.7	3.2	2.5	3.3	3.4	-
失業率	(%)	12.0	11.7	11.2	10.8	10.3	10.1	10.0	-
貿易収支	(百万米ドル)	785	510	▲ 42	853	345	▲ 818	-	-
輸出額	(百万米ドル)	16,216	17,158	16,170	16,262	16,826	15,118	-	-
輸出伸び率	(前年比、%)	▲ 9.1	▲ 11.5	▲ 17.0	▲ 13.1	▲ 9.4	▲ 19.3	-	-
輸入額	(百万米ドル)	15,431	16,648	16,212	15,410	16,481	15,936	-	-
輸入伸び率	(前年比、%)	▲ 14.4	▲ 15.6	▲ 15.8	▲ 20.6	▲ 12.2	▲ 18.0	-	-
株価指数		52,459	53,546	55,547	56,649	54,031	52,422	51,872	50,688
短期金利(interbank3m)		1.92	1.67	1.65	1.67	1.70	1.72	1.72	1.72
長期金利(Gov.10y bond yields)		2.20	2.33	2.37	2.82	3.19	3.16	2.88	-
Zloty/USD		3.68	3.81	3.72	3.66	3.71	3.78	3.77	3.76
Zloty/Euro		4.18	4.13	4.02	4.08	4.16	4.15	4.20	4.22
Zloty/GBP		5.63	5.71	5.57	5.65	5.77	5.87	5.88	5.76

(注) 貿易収支は通関ベース

(資料) ポーランド中央銀行、Macrobond他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。